



第1回全理事会

日時 平成20年4月12日（土）16：00～17：25
場所 札幌グランドホテル 3階「銀扇」
出席者 長瀬会長、三宅・宮本各副会長、榊山・山本・北野・渡辺・三戸・小山・目黒・藤原・深澤・西里・直江・橋本各常任理事、上埜・上西・山・城・鈴木・増田・古屋・西池・飯塚各理事、高木・水元各監事、飯塚顧問、中川参与、伊藤議長、塩野副議長、島田日医裁定委員、河西・山光各日医代議員、高村前日医委員。
 （事務局：島影事務局長ほか13名）

報告事項

1. 第118回日本医師会定例代議員会について

（三宅・宮本各副会長）

初日は役員等の選挙が施行され、議長は石川育成氏（岩手）を無投票で再選、副議長は米盛 學氏（鹿児島）が当選。会長には現職の唐澤祥人氏（東京）が順当に再選。副会長は定数の届出のため竹嶋康弘氏（福岡）・岩砂和雄氏（岐阜）・宝住与一氏（栃木）の3名を無投票で再選。常任理事は定数10名に対して、唐澤氏側の候補10名（現職8名、新人2名）と保坂シゲリ氏（神奈川）の11名の届出があり、唐澤氏側の候補全員が当選。中川俊男氏（道医参与）は常任理事候補では2番目の得票を獲得し再選。その他、理事、監事、裁定委員はいずれも定数の届出により無投票で確定。当会関係では、理事には前職の飯塚弘志氏（前道医会長）に代わり長瀬 清会長が、裁定委員には前職の樋口 忠氏（現札幌医顧問）に代わり島田保久氏（現札幌医顧問）が就任した。

2日目は、唐澤会長の所信表明、会務報告、事業計画・各予算案等が上程され、代表質問・個人質問の質疑応答が行われた。当会では、代表質問は上埜光紀代議員が「新医師臨床研修制度の見直しについて」、個人質問は宮本慎一代議員が「地域医療の確保について」、山光進代議員が「いつでも、どこでも、だれもが容易に受診可能とするために」の質問をそれぞれ行った。議案審議については、終了後に定例総会に報告されすべて承認された。

2. 日医各委員会報告

(1) 日医総研戦略会議[1月25日（金）・3月14日（金）]について（河西委員）

両日とも冒頭、西澤直衛事務管理部長から日医総研活動状況の報告を受けた。なお、1月25日は一般会員を対象とする医療に関する研究計画の公募と研究費助成（案）についての説明を受け了承し、3月14日は藤原淳議長から2年間の総括があった。

(2) IT化推進検討委員会について（高村委員）

諮問「医療分野におけるIT化の実践」に対し、「医師会ネットワーク」「日医標準レセプトソフト(ORCAプロジェクト)」「診療データの交換」等について検討を進め、答申したことが報告された。

(3) 国民生活安全対策委員会について（増田理事）

諮問に基づき、食品安全に関する情報システムの実施および検証、ならびに国民生活安全に関する現状と対策について答申をまとめ、3月25日に答申書が提出された。

3. 北海道医療計画について（宮本副会長）

昨年3月から合計6回開催した計画特別委員会（委員長：小職）における検討などを踏まえ策定された「北海道医療計画」は、北海道総合保健医療協議会総会、北海道医療審議会を経て、原案のとおり決定。答申書は3月24日（月）午後1時に道庁知事応接室にて、長瀬会長から高橋知事に手交した。

4. その他

(1) 厚労省第三次試案のアンケートについて

（山本常任理事）

新たな死因究明制度については、厚労省からの二次試案公表後、パブリックコメントを通じ医療関係者を中心に反対意見が続出したが、今回の試案は厚労省、警察庁、国会議員等と審議を重ね、修正および明文化された。第三次試案は郡市医師会・全理事には送付済みで、厚労省にパブリックコメントとして意見を述べることになった。また、日医では、本件に対するアンケート調査を行っているので、要望・意見があれば事業第三課宛に連絡してほしい。

承認事項

1. 外部各委員会等委員の推薦ならびに一部変更について（深澤常任理事）

〈決 定〉

北海道肝炎対策協議会委員に畑副会長を推薦することを承認。また、原田常任理事退任に伴う後任者を承認。

2. 国保審査委員会委員の推薦について

（西里常任理事）

〈決 定〉

保険医代表1名（外科）の辞任に伴う後任委員として、札幌市医師会から推薦のあった1名を推薦することを承認。

3. 事務局の人事異動について（深澤常任理事）

〈決 定〉

提案どおり承認。

協議事項

第1号 日本医師会代議員の繰上げ補充に関する件
（深澤常任理事）

〈決 定〉

長瀬会長が日医理事に就任したことにより、道医執行部役員枠である予備代議員筆頭の畑副会長を繰り上げ補充することと決定。

第2号 北海道医師会平成19年度裁定第1号事案に関する件（深澤常任理事）

〈決 定〉

次回全理事会に再度諮ることと決定。

第3号 北海道医師会職制の一部改正に関する件
（深澤常任理事）

〈決 定〉

提案どおり決定。

第4号 北海道医師会個人情報保護管理体制の一部改正に関する件（深澤常任理事）

〈決 定〉

提案どおり決定。

第5号 北海道医師会職員貸付金の利率に関する件
（深澤常任理事）

〈決 定〉

提案どおり決定。

第6号 理事提案事項

特になし

第7号 その他

(1) 平成20年度主行事予定に関する件（事務局）

〈決 定〉

提案どおり決定。

総医協関連事項（三宅副会長）

前回全理事会以降に開催された各専門委員会、総会の協議事項等について報告。

第3回常任理事会

日 時 平成20年5月13日（火）20：10～21：12
場 所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、榊山・山本・北野・渡辺・三戸・小山・目黒・藤井・藤原・深澤・西里・直江・橋本各常任理事、高木・水元・中村各監事
（事務局：島影事務局長ほか12名）

協議事項

第1号 平成19年度一般会計収支決算に関する件
（榊山常任理事）

第2号 平成19年度救急医療対策費特別会計収支決算に関する件（榊山常任理事）

第3号 平成19年度社保対処費特別会計収支決算に

関する件（榊山常任理事）

第4号 平成19年度収益事業特別会計収支決算に関する件（榊山常任理事）

第5号 平成19年度会員共済特別会計収支決算に関する件（榊山常任理事）

第6号 平成19年度育英資金特別会計収支決算に関する件（榊山常任理事）

第7号 平成19年度決算総括表に関する件
（榊山常任理事）

第8号 収益事業の税務申告に関する件
（榊山常任理事）

（第1号から第8号までの、平成19年度一般会計ほか特別会計収支決算書ならびに決算総括表について一括提案説明が行われ、その後高木・水元両監事により内部・外部監査報告があった）

〈決 定〉

提案どおり承認。

第9号 平成20年度道医・日医会費減免申請に関する件（深澤常任理事）

〈決 定〉

道医会費減免申請者、高齢免除970名・一般減免18名・研修医10名の計998名（免除額合計26,196,000円）と、日医会費減免申請者、高齢免除540名・一般減免15名、計555名（免除額合計17,902,000円）につき承認。

第10号 日本医師会会内委員会委員の推薦に関する件（深澤常任理事）

〈決 定〉

日医から当ブロックに対して26の委員会委員の推薦依頼があり、常任執行部役員と一部の理事から適任者を選し推薦することにつき承認。

第11号 北海道後期高齢者医療広域連合運営協議会委員の推薦に関する件（深澤常任理事）

〈決 定〉

西里常任理事を推薦することにつき承認。

第12号 北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画検討協議会委員の推薦に関する件
（深澤常任理事）

〈決 定〉

三宅副会長を推薦することにつき承認。

第13号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（渡辺常任理事）

〈決 定〉

申請のあった日医生涯教育講座69件、道医認定生涯教育講座52件、合計121件につき承認。

第14号 第2回全理事会の開催に関する件
（深澤常任理事）

〈決 定〉

5月24日（土）午後4時から北海道医師会館9階理事会室での標記会議の開催と提出議題につき承認。

第15号 第1回郡市医師会長協議会の開催に関する件（深澤常任理事）

〈決 定〉

6月21（土）午後4時から北海道医師会館8階会議室での標記会議の開催と提出議題につき承認。

報告事項

1. 監査報告（内部：高木監事、外部：水元監事）
（協議事項第8号にて報告）
2. 厚労省第三次試案に関する都道府県医師会担当理事連絡協議会[4月24日（木）]について
（山本常任理事）

第三次試案に基づいて制度を創設すべきだと主張する都道府県医師会が8割であるが、当会の意見として、不明点を明確化すべきであり、また監察医制度、AIの活用、豪州コロナー制度の導入なども推進するよう意見を述べた。各学会でも意見が分かれているが、制度の創設は必須であることは一致している。第四次試案を要望する意見も多く、まだ時間がかかると思われる。

3. 緊急臨時的医師派遣体制整備事業について
（直江常任理事）

実施主体等について引き続き検討することとなった。

4. 日医理事会報告（長瀬会長）

理事打合会の協議事項、理事会の報告・承認・協議事項について報告があった。また、理事会の席で上川内閣府特命担当大臣との意見交換が行われた。

5. 外部各委員会報告

- (1) 北海道救急業務高度化推進協議会第11回会議[4月23日（水）]について（目黒常任理事）

地域メディカルコントロール協議会開催状況等について経過報告があり、その後、救急救命士資格を有する救急隊員、気管挿管可能な救急救命士の再教育等について協議を行った。

6. 各部報告

- (1) 第1回健康教育部担当理事会[4月21日（月）]について（藤井常任理事）

5月31日（土）午後3時30分より北海道医師会館で開催予定の「洞爺湖サミット開催記念受動喫煙防止道民大会」についてPRした。また、当会も参画し北海道健康づくり実行委員会が中心となって企画している「NHK『ほっからんど北海道』水曜日健康コーナー」の担当役員を決定した。

- (2) 第1回医療保険部担当理事会[4月22日（火）]について（西里常任理事）

北海道保健福祉部子ども未来推進局より「北海道医療給付事業（重度心身障害者・ひとり親家庭・乳幼児医療）における自己負担額の見直しについて、引き続き検討していきたい」との説明に対し、当会としては「負担金の増額は、患者への影響が大きいことから反対である」とのスタンスを示し、今後も医療関連団体等と意見調整をしながら検討することにした。また、後期

高齢者医療制度に関し、他府県医師会等が反対・慎重姿勢を示している状況を踏まえ、当会としても問題点・論点等を整理し、次回担当理事会ならびに5月27日（火）に開催予定の常任理事懇談会において、改めて協議することとなった。

第2回全理事会

日 時 平成20年5月24日（土）16：00～17：38
場 所 北海道医師会館 9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、榊山・山本・北野・渡辺・三戸・目黒・藤原・深澤・西里・直江・橋本各常任理事、上埜・上西・山・城・鈴木・増田・古屋・吉田・西池各理事、高木・水元・中村各監事、飯塚顧問、中川参与、伊藤議長、塩野副議長、島田日医裁定委員、河西日医代議員。
（事務局：島影事務局長ほか12名）

報告事項

1. 監査報告
（内部監査：高木監事、外部監査：水元監事）
2. 厚労省第三次試案に関する都道府県医師会担当理事連絡協議会[4月24日（木）]について
（山本常任理事）

7割以上の医師会が第三次試案に基づいて制度を創設すべきとしているが、刑事手続きとの関係、重大な過失の定義、調査資料の訴訟への利用などが解決されていないのが現状であり、今国会における法案提出は危ぶまれている。また学会においても意見の統一が図られていない。

3. 日医理事会報告（長瀬会長）

日医理事会での報告事項等について説明があった。

4. 中央情勢報告（中川参与）

日医の財務省「医療制度の現状と課題」等に関する見解と後期高齢者医療制度のあるべき姿についての見解等について説明いただいた。

承認事項

1. 役員会務分担の一部変更について
（深澤常任理事）

〈決 定〉

原田常任理事の退任に伴い、役員会務分担を一部変更することを承認。

2. 日本医師会会内委員会委員の推薦について
（深澤常任理事）

〈決 定〉

日医から当ブロックに対して26の委員会委員（任期20年4月1日～22年3月31日）の推薦依頼があり、常任執行部役員と一部の理事から適任者を人選し推薦することを承認。

3. 外部各委員会等委員の推薦について

(深澤常任理事)

〈決 定〉

北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画検討協議会委員に三宅副会長を、北海道後期高齢者医療広域連合運営協議会委員に西里常任理事を推薦することを承認。

協議事項

第1号 平成19年度一般会計収支決算に関する件

(榊山常任理事)

第2号 平成19年度救急医療対策費特別会計収支決算に関する件 (榊山常任理事)

第3号 平成19年度社保対処費特別会計収支決算に関する件 (榊山常任理事)

第4号 平成19年度収益事業特別会計収支決算に関する件 (榊山常任理事)

第5号 平成19年度会員共済特別会計収支決算に関する件 (榊山常任理事)

第6号 平成19年度育英資金特別会計収支決算に関する件 (榊山常任理事)

第7号 平成19年度決算総括表に関する件 (榊山常任理事)

第8号 収益事業の税務申告に関する件 (榊山常任理事)

〈決 定〉

平成19年度一般会計ほか特別会計の収支決算書ならびに決算総括表を一括提案説明。監事による内部・外部監査報告書にもとづき提案どおり承認。

第9号 北海道医師会平成19年度裁定第1号事案に関する件 (深澤常任理事)

〈決 定〉

本会裁定委員会の決定につき、当該会員および所属都市医師会へ通知するとともに、当該会員の氏名と事由の概要を併せて日医に通知する。

第10号 平成20年度道医・日医会費減免申請に関する件 (深澤常任理事)

〈決 定〉

道医会費減免申請者は、高齢免除970名、一般減免18名、研修医10名、合計998名で免除額26,196,000円。

日医会費減免申請者は、高齢免除540名、一般減免15名、合計555名で免除額17,902,000円。

以上の減免を承認。

第11号 緊急臨時的医師派遣体制整備事業に関する件 (直江常任理事)

〈決 定〉

地域の医師不足対策として、道では20年度に新たに1億800万円の予算規模で本事業を実施することとなり、かねてより常任理事会内にプロジェクト的に検討会を設置し検討してきた本事業を当会と北海道病院協会が協力して推進する。

第12号 第1回郡市医師会長協議会の開催に関する件 (深澤常任理事)

〈決 定〉

6月21日(土)午後4時から北海道医師会館8階会議室での標記会議の開催と提出議題を決定。

第13号 理事提案事項

増田理事より北海道医師会として女性医師部会をコーディネートするような人材を育てていく考えはないか質問があり、会長から慎重に検討させていただく旨の回答がなされた。

第14号 その他

城理事より小樽で行われた「シッコ」上映の報告がなされた。3回上映、観客1,200名。

道総医協関連事項 (三宅副会長)

前回全理事会以降に開催された介護老人保健施設整備検討委員会(西里委員長)について報告した。

第4回常任理事会

日 時 平成20年5月27日(火) 18:00～19:18
場 所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、榊山・山本・北野・渡辺・三戸・小山・目黒・藤原・深澤・西里・直江・橋本各常任理事、高木・水元・中村各監事
(事務局：島影事務局長ほか11名)

協議事項

第1号 母体保護法指定医師の指定に関する件 (深澤常任理事)

〈決 定〉

5月21日の審査委員会で指定「可」とされた新規1名、再審3名の申請者を指定医師とする。

第2号 緊急臨時的医師派遣体制整備事業推進協議会ならびに運営委員会委員に関する件 (深澤常任理事)

〈決 定〉

標記事業の実施に向けて推進協議会には長瀬会長と宮本副会長が参画し、運営委員会には宮本副会長、直江常任理事、深澤常任理事、上埜理事が参画する。

第3号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件 (渡辺常任理事)

〈決 定〉

申請のあった日医生涯教育講座34件、道医認定生涯教育講座39件、合計73件を承認する。

第4号 その他

(1) 6月行事予定に関する件 (事務局)

〈決 定〉

提案どおり承認。

報告事項

1. 生活保護医療に関する打合せ [5月14日(水)]
について (西里常任理事)

当会と北海道保健福祉部保健医療局福祉援護課との間で標記打合せを開催し、今年度の実施要綱、個

別指導・集合指導実施計画について道担当者から説明を受け、協議の上、すべて了承した。

2. 第1回産業保健活動推進委員会[5月15日(木)]について(小山常任理事)

うつ病に関するガイドラインを作成し、北海道医報5月1日号附録として会員に配布すること、今年度はこのガイドラインを基に「うつ病に関する研修会」を開催することとして、講師等を決定した。また、産業保健研修会の開催日程を決定した。

3. 元厚生大臣津島衆議院議員への陳情[5月19日(月)]について(三宅副会長)

来札された津島議員(現自民党税調会長)に対し、長瀬会長他役員より、(1)地域医療確保のため社会保障費を毎年2,200億円、5年で1兆1千億円削減する方針の撤回、(2)控除対象外消費税の解消、について陳情した。議員には、深い理解を示され力強い返答があった。

4. 北海道議会自民党医療関連促進議員連盟役員との懇談会[5月19日(月)]について

(深澤常任理事)

標記懇談会を午後6時、札幌グランドホテルにおいて議員連盟役員6名の出席を得て開催した。長瀬会長と伊藤議員連盟会長からの挨拶、出席者紹介ののち、懇談事項として、(1)医療費財源確保については直江常任理事から、(2)後期高齢者医療制度については西里常任理事から懇切に説明を行い、その後は懇談に切り替え種々質疑や意見を交わしつつ和やかな懇親が行われた。

5. 第88回北海道医学大会第1回幹事会[5月20日(火)]について(渡辺常任理事)

本年度は北大の主担当で本間医学研究科長を会頭として、9月27日(土)に札幌グランドホテルにおいて開催すること、大会役員の業務分担、参加分科会、総会プログラム等について決定した。また、第2回幹事会、連絡協議会を7月15日(火)に開催し、最終的な打合せを行うこととした。

6. 医療保険に関する打合せ[5月21日(水)]について(西里常任理事)

当会と北海道社会保険事務局保険課ならびに北海道保健福祉部保健医療局国民健康課との間で標記打合せを開催し、今年度の指導計画と「個別指導」「集団的個別指導」の実施要領等について担当官から説明を受けた。その結果、「集団的個別指導」の指導形態・指導方法について、一部継続協議となったが、そのほかについては了承した。「集団的個別指導」は本年9月までは従前の更新年次の指定保険医療機関を対象に実施するが、北海道厚生局に指導・監査業務が移行する10月以降の取扱いについては改めて協議を行う予定。

7. 外部各委員会報告

(1) 糖尿病の医療連携に関する専門家懇談会[5月20日(火)]について(西里常任理事)

平成19年度専門家懇談会の状況ならびに道内における糖尿病治療専門家・専門機関の状況等について報告の後、「糖尿病の医療機能を担う医療機関の公表基準の設定」について協議した。

(2) 2008北海道洞爺湖サミット現地医療対策準備会合[5月25日(日)]について(目黒常任理事)

厚労省より北海道洞爺湖サミット開催期間中の救急医療体制について概要説明があり、その後、派遣要請医療機関と派遣元医療機関ごとの意見交換が行われた。

8. 各部報告

(1) 第2回学術部担当理事会[5月20日(火)]について(渡辺常任理事)

日医から求められている「いわゆる総合医・総合診療医(仮称)を養成するための認定制度およびその名称に関する都道府県医師会アンケート調査」について検討した。その結果、担当部において回答(案)を作成し、常任理事会メンバーの意見を求めることとなった。意見交換を行った結果、学術部で作成した回答を了承、日医に提出することを決定した。なお、全国のアンケート集計結果は、来る6月5日(木)の都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会で示される。

(2) 第1回医療関連事業部担当理事会[5月22日(木)]について(北野常任理事)

医療関連事業部所管事項について検討を行った。勤務医部会については、運営委員会の中で勤務医を取り巻く環境の課題・問題点等を整理して、全体会議で種々協議していくこととした。病院対策関係では、平成15年度から休止している病院運営等検討委員会ならびに北海道病院団体協議会の今後のあり方について検討し、両者ともに情報交換会であること、メンバーが重複していることから、構成団体数の多い北海道病院団体協議会の開催内容を見直し、再開する方向で引続き検討する。

(3) 第2回医療政策部担当理事会[5月24日(土)]について(直江常任理事)

「医政講演会」「第2回政経問題懇話会」の日程、講師につき協議した。本年度新規事業の「地域別意見交換会」の開催日程については、関係郡市医師会と今後調整する。